

「2021全国配置オリンピック」 配置薬を中心に積極的な業態変化を遂げる中堅販社グループの「日本配置システム研究会」が開催 表彰式はZOOMにより8月4日行われる

(一社) 日本置き薬協会
発行 日本置き薬協会事務局

前号では平成の配置業界の動向を掲載したが、配置用医薬品生産額がピークの平成9年の685億円から30年の142億円へ20%まで減少しながらも、全従事者数はピークの平成11年の34,118人から30年の13,894人へと40%までしか減少していない点を、「業界全体がサプリメント等の健康食品の販売に比重を移した」と説明した。その実態を表す一つとして、業界の中堅販社グループが開催された売上コンテストを紹介したい。以下は業界紙「薬日新聞8月7・17号」の記事を転載。

配置販売業界の若手配置販売経営者などで結成している日本配置システム研究会（会長・内山匡真エース内山薬品(株)社長）は、今年4～6月に行った恒例の「全国配置オリンピック」の結果を発表した。8月4日午前9時から表彰式をZOOMで行った。

同会の全国配置オリンピックとは、各販売会社から1チーム3名でエントリーし、期間中（三か月間）のチーム売上（集金額）、個人売上（集金額）、年代別個人売上（20～60歳代以上まで5部門）を争う。今年は39チーム、個人117名がエントリーした。

個人戦（月平均集金額）

個人総合（117名参加）	1位	小笠原雄樹（サエグサ薬品）	289万円
	2位	小原隆志（フカイ）	269万円
	3位	池田純明（元気計画）	260万円
20歳代（11名参加）	1位	五十嵐圭吾（元気計画）	171万円
	2位	堀田美哉（元気計画）	149万円
	3位	宮部達也（サエグサ薬品）	125万円
30歳代（32名参加）	1位	小笠原雄樹（サエグサ薬品）	289万円
	2位	池田純明（元気計画）	260万円
	3位	中官幹人（太陽薬品）	214万円
40歳代（42名参加）	1位	小原隆志（フカイ）	269万円
	2位	田中裕光（太陽薬品）	257万円
	3位	池田稔（太陽薬品）	240万円
50歳代（24名参加）	1位	生田直三（エース内山薬品）	205万円
	2位	箱崎聡（三和薬品）	158万円
	3位	萬弘臣（サエグサ薬品九州）	140万円
60歳代（8名参加）	1位	豊吉隆光（ミズノ常備薬）	126万円
	2位	花岡秀郎（三和薬品）	119万円
	3位	福島敏明（ミズノ常備薬）	114万円

チーム戦（チーム3名の月平均集金額）

1位	株太陽薬品（浪速サンシャインボーイズS）	240万円
2位	株フカイ（スマイルハート2021）	234万円
3位	株サエグサ薬品（絆）	197万円
4位	エース内山薬品(株)（三匹のエースコック）	195万円
5位	株元気計画（なごみ）	194万円